

むくらむくら

令和2年6月1日発行

第22号

社会福祉法人桜友会
児童心理療育施設 桜学館
〒501-3932 岐阜県関市稲口777番地1
Tel 0575-24-0050 Fax 0575-24-0051



ごあいさつ

桜学館施設長 児玉 俊郎

この4月から「桜学館」の施設長になりました。児童養護施設・乳児院・大学教員を経て、ふたたび子どもたちとともに生活することになりました。よろしく願いいたします。

就任早々新型コロナ対策でバタバタの状態でした。しかし、笑顔の素晴らしい子どもたちと職員集団に守られて2ヶ月が過ぎようとしています。子どもたちは、スポーツ同好会や卓球・空手と様々な運動に汗を流し、職員も必死についていっています。私も何十年かぶりに卓球を子どもたちと楽しみました（三歩動かしたら反則と言いながら）。5月2日には園庭でBBQ大会を開催しました。私も火おこし係をやり、子どもたちにおいしい肉や野菜をふるまいました。本当に子どもたちの笑顔は最高でした。

桜学館が設立されて15年が過ぎ、16年目という新しい節目に入りました。県内唯一の情緒障害児短期治療施設として社会的役割を担い、児童福祉法改正に伴い、平成29年より児童心理療育施設として子どもたちの心の課題と一緒に取り組んでいます。子どもたちは、まだまだ心の中の整理ができていなく、不安定な状態もありますが、確実に成長してきていることをこの1か月で感じています。子ども同士で遊んでいるときに急に走り出し、担当保育士のところに駆け寄り自分の思いを必死に伝えています。担当保育士と話をすることで自然と落ち着きを取り戻し、また子どもたちの中に戻り遊びを続けています。

わたくしたち職員は、新しく4つの理念を掲げ、子どもたちにとって心から委ねられる存在になることを目指して頑張っています。ご家族の皆さんをはじめ、多くの方々に支えられながら子どもたちとともに成長していこうと頑張っていますので、今後ともご協力のほどよろしくお願いいたします。

1.子ども一人ひとりにしっかりと向き合い、一人ひとりの自己実現に向かって共に支援を行います。

2.子ども一人ひとりの成長・発達を願い、子ども一人ひとりに相応しい環境設定を行います。

3.子ども一人ひとりの命を大切にし、子ども一人ひとりの家庭復帰を目指した地域支援を行います。

4.子ども一人ひとりの思いに耳を傾け、子ども一人ひとりを主体者として支援を行います。

風ユニット

今の風ユニットはまさに「Stay Home」
みんなでお出かけができない分 みんなの得意を
活かして おうちの中で 物づくりをしたりお菓子作りをしたり…
いつもよりも ひとりひとりの時間を
大切にできているような気がします♪
エネルギーを貯めて 新学期にそなえます！



虹ユニット

安心と安全の土台から、真価を見せて空を泳ごうとした
子どもたち。上手に空を泳いで旅立った子もいたけれど、
うまく泳げず風に流されてしまった子も…！風に流され
てたどりついた場所は、「**どうぶつの森**」！？



ユニットを小さな森に見立てて、その中でおだやかでのんびりとした、安心
できる生活ができるように、自分だけのおうちを作ろう！まずは自分自身を大
切にすること、自分自身を守れるように自分の居場所を作るところから、この
森の生活は始まっていきます。
さあ、すてきなおうちで、楽しい暮らしを送りましょう。乞うご期待！●





光ユニット



！人！人の課題に向き合い、さらに上の自分を目指して進む『光鉄道』。できた事の喜びを楽しむためにごほうび外出！今回はボウリング！楽しかった！

コロナで外に出られない…
 いろんなことを制限されて元気
 いっぱいな光の仲間は辛い思
 いもしています…
 しかし！自由献立の中華料理
 でお腹いっぱい食べてコロナ
 を吹き飛ばせ！！



空ユニット

今年度は中学生3名と小学生2名の計5名でスタートをきりました。
 新学期と言っても一斉休校のため、なかなか学校は始まらず・・・。
 新しい学年になり、実感が湧かない子もいれば、受験生として焦りを感じだす子もいるようです。
 外出自粛のなかで子どもたちからは「ひま！！」という声が多く、何とか毎日が明るく楽しい一日にならないかと考え、お菓子作りやボードゲーム会、しおり作りなどのユニット行事を行いました。



お菓子作りでは“こいのぼりサンドイッチ”に挑戦！！
 食パンを切って、生クリームやジャムを塗って、最後はトッピング♪
 器用にジャムを塗ったり、欲張ってクリームがはみ出したり・・・
 個性豊かなこいのぼりが完成しました！！





桜学館分級のあゆみ

新型コロナウイルス感染予防のための臨時休校が、3月から5月末まで3か月も続いてしまいました。

分級では、学校が始められる日が早く来ることを願いながら、楽しんで取り組める課題を準備したり、環境を整えたりしました。

力をつけよう～休校中の課題～

前学年の復習ができるもの” “現学年の予習ができるもの”
“教科の本質に関わる興味を高められるようなもの” …
長い休校中、飽きずに取り組めるような課題を準備しました。
中学生も小学生も、ユニット職員さんのご支援もあり、
一生懸命取り組み続けることができました。



毎日コツコツがんばったね

環境整備～きれいな分級で勉強したり活動したりしたいね～

非常階段付近

今までに学習で使ってきたものなどが、山のように積み重なっていました。今後も使うものと、もう使わないものに分け、きれいに整頓することができました。普段入らない場所に生えていた草も抜き、スッキリサッパリ、気持ちのよい場所になりました。



1階ろうか

掲示物の跡や、物が当たった跡などで変色してしまっていた1階の廊下の壁…。白い塗料を塗り、明るくきれいになりました。

壁と水回りの隙間も、コーキング材で埋め、安心して使えるようになりました。

マスクをいただきました～コロナに負けない!!～

国から布製マスクが届きました。エンジェルルナ（会社）様からは、水着素材のマスクを寄贈していただきました。水着素材ですので何回も洗えます。耐久性はもちろん衛生的で、つけ心地も大変よいマスクです。感謝の思いとともに、ご紹介ご報告させていただきます。



国より





レクより



『コロナに負けないゴールデンウィーク BBQ』

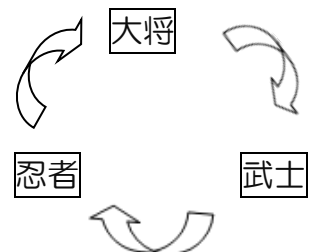


今年度はゴールデンウィークにBBQを行いました。新人職員と共にみんなでたくさんのお肉を焼いて食べました。新人の一人でもある施設長が子どもたちのために、沢山お肉を焼いていました。

BBQの後には子どもたちは恒例の全力戦闘クラブやCOZA工房に参加し、体を動かしたり、ものづくりを楽しんでいました。

*全力戦闘クラブ：じゃんけん理論を用いて2つのチームが戦う鬼ごっこ。
大将・忍者・武士が役割分担しながら相手の大将を狙います。

*COZA工房：ものづくり体験教室です。
プラバン作りとキャンドル粘土をしました。





お 礼



岐阜県共同募金会より、令和2年度事業「赤い羽根テーマ募金配分」を受けることになりました。この配分金を利用して各ユニットに1台ずつ、合計4台の洗濯機を購入しました。大切に使用させていただきます。



新人スタッフ紹介



諸戸 友加奈



4月に入職してあっという間に2ヶ月が経ちました。コロナの影響で学校が休みになっております。子ども達と過ごす時間も多く、沢山遊んでいます。子ども達の未来が幸せなものになるようお手伝いが出来たらと思います。そのため、日々学び成長できるように頑張ります。宜しくお願いします。



子ども家庭支援センター「とも」より



令和2年度から里親養育包括支援（フォスタリング）事業を受託し、職員が6名になりました。地域のご家庭、里親をしていただいているご家庭が安心してお子さんを育てられるように、そして、子どもたちが自分らしく育っていくことができるように応援させていただきたいと思っております。新しい「とも」も引き続き、ご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。



編集後記



コロナ禍の中、桜学館では3月末に8名の中3生をはじめとして11人の退所生を見送りました。そして新年度になり、新施設長を迎え新しいスタートを切りました。



室内遊具やマスクの寄付をいただいたり、皆さまからのご支援ご協力により子どもたちは今日も元気に過ごすことができています。職員も手作りマスクの製作に精を出し施設内は色とりどりのマスクをした子どもたちや職員で華やかな雰囲気になっています。この「さくらさくら」が発行される頃には入学式も行われ少しずつ学校への登校も始まる予定です。

「新しい生活様式」を念頭に桜学館もコロナと付き合いながら、子どもたちの笑顔が増えるよう支援を続けていきたいと思っております。

皆様の支えがあつての桜学館と改めて感じています。ありがとうございます。

広報紙「さくらさくら」へのご意見、ご感想を寄せてください。

(E-Mail : sakura@hohoemi.or.jp) 広報委員 川治・横井